

Coffee Market Report



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

August 2025

2025年8月にICO複合指標価格(I-CIP)が約100セント上昇

生豆価格

- ・ ICO複合指標価格(I-CIP)は2025年8月に平均297.05セントとなり、2025年7月から14.6%の上昇となった。
- ・ コロンビア・マイルドおよびアザーマイルドの価格は、いずれも2025年7月比でそれぞれ13.8%および12.5%上昇し、2025年8月にはそれぞれ平均366.72セントおよび366.32セントとなった。ブラジル・ナチュラルも2025年8月に13.4%上昇し366.88セントとなった。ロブスタは最も拡大し、19.1%上昇して199.13セントとなった。
- ・ コロンビア・マイルド―アザーマイルドの価格差は反転し、2025年7月から2025年8月の間に-3.13セントから0.41セントへと推移した。
- ・ ロンドンおよびニューヨークの先物市場間で測定されたアービトラージは、2025年8月にさらに8.4%拡大し147.14セントとなった。
- ・ I-CIPのボラティリティは2025年7月比で0.8パーセントポイント上昇し、2025年8月には平均11.0%となった。
- ・ ロンドンのロブスタの認証在庫は2025年7月から2025年8月にかけて4.6%減少し、月末時点で113万袋となった。アラビカの認証在庫も同様の傾向をたどり、77万袋へと縮小し、2025年7月比で7.9%の減少、2024年4月以来の最低となった。

コーヒーグループ別輸出―生豆

- ・ 2025年7月の生豆輸出は合計1030万袋となり、2024年7月の1038万袋と比較して0.7%減少した。内訳は以下のとおり。
- ・ ブラジル・ナチュラルの輸出は、2024年7月の323万袋から2025年7月には269万袋へと16.8%減少した。
- ・ コロンビア・マイルドの輸出は、2024年7月の107万袋から2025年7月には117万袋へと9.6%増加した。
- ・ アザーマイルドの輸出は、2024年同期間の235万袋から2025年7月には252万袋へと7.3%増加した。
- ・ ロブスタの輸出は、2024年7月の373万袋から2025年7月には392万袋へと5.2%増加した。
- ・ コーヒー年度2024/25の最初の9カ月（～2025年5月）における生豆総輸出に占めるアラビカの比率は、前年同期の61.6%から62.7%へと上昇した。

地域別輸出货量―コーヒー全形態

- ・ 2025年7月の全形態のコーヒー輸出は合計1142万袋となり、2024年7月の1160万袋と比較して1.6%減少した。
- ・ 南米の輸出は、2024年7月の540万袋から440万袋へと18.5%減少した。メキシコおよび中米の輸出は、2024年7月の152万袋と比較して163万袋へと7.2%増加した。
- ・ アジア・オセアニアの輸出は、2024年7月の273万袋から2025年7月には334万袋へと22.7%増加した。
- ・ アフリカの輸出は、2024年7月の196万袋から2025年7月には205万袋へと4.4%増加した。

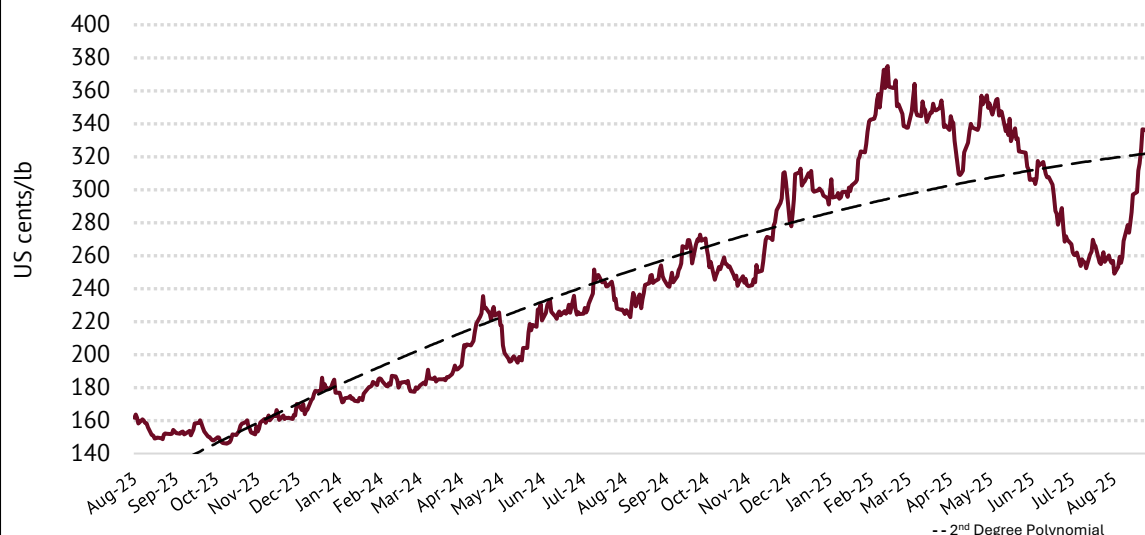
形態別コーヒー輸出货量

- ・ 焙煎豆の輸出は2025年7月に63.0%減少し、2024年7月の9万袋と比較して3万袋に達した。
- ・ ソリュブルコーヒーの総輸出は、2024年7月の114万袋から2025年7月には108万袋へと5.0%減少した。

生豆価格

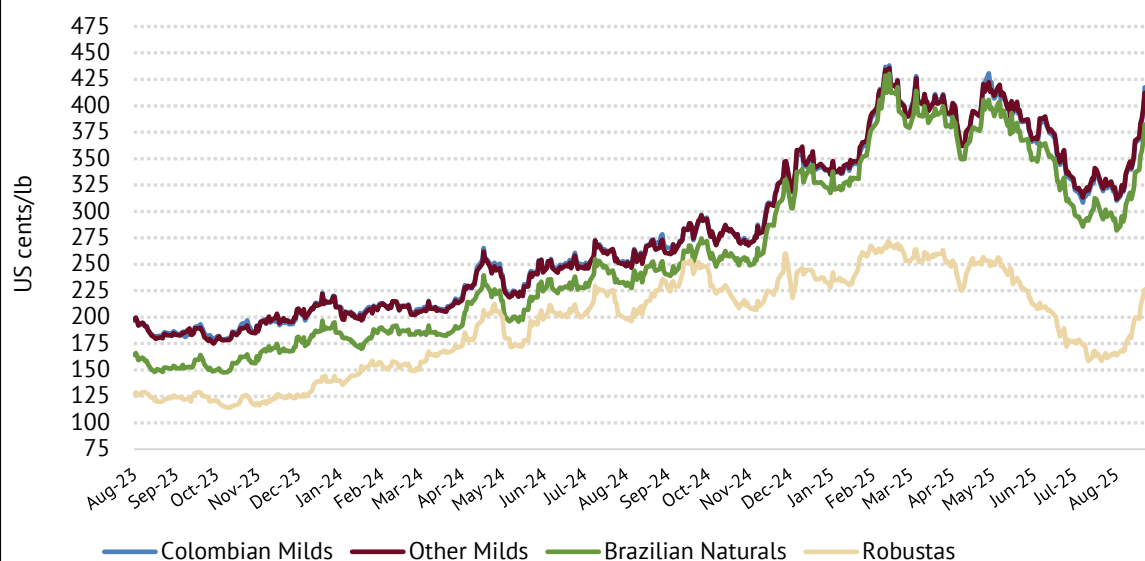
ICO複合指標価格(I-CIP)は2025年8月に平均297.05セントとなり、2025年7月から14.6%の上昇となった。中央値は297.10セントで、249.12～344.64セントの範囲で変動した。I-CIPは8月を通じて明確な上昇トレンドを示した。2025年8月の指標は2024年8月の指標を24.3%上回り、12カ月移動平均は301.13セントとなった。

図1：ICO複合指標価格



コロンビア・マイルドおよびアザーマイルドの価格は、いずれも2025年7月比でそれぞれ13.8%および12.5%上昇し、2025年8月にはそれぞれ平均366.72セントおよび366.32セントとなった。ブラジル・ナチュラルも2025年8月に13.4%上昇し366.88セントとなった。ロブスタは最も拡大し、19.1%上昇して199.13セントとなった。ロンドンのICE市場の価格は18.2%上昇して181.43セントとなり、ニューヨークICE市場は2025年8月に13.6%上昇して328.57セントとなった。

図2：ICOグループ指標価格



2025年8月、市場に上方圧力を与えた幾つかの重要な出来事があった。これらには、以下が含まれるが、これらに限定されない。

- 米国のブラジル産コーヒーに対する50%関税制度の影響が、ブラジル国内の市場行動に影響を与えたこと。2023/24および現行のコーヒー年度の双方で高水準の価格が続いた結果、大規模な在庫取り崩しが行われ、ブラジル生産者の資本力が強化された。こうした財務状況の改善により、生産者はより長期間の操業継続と、直ちにコーヒーを販売することなく次の収穫に向けた準備が可能となった。さらに、政府支援のイニシアチブがブラジルのコーヒー農家を支援している。

- o Funcafé：この国家的資金メカニズムは、優遇融資を通じて同国のコーヒー産業を支援するためにブラジル農業省によって設立され、2025/26コーヒー収穫に対して記録的な68億レアル（12.9億ドル）の資金拠出が約束された。

- 商業化の進捗が緩慢であること。Safras & Mercado は2025/26作の収穫が99%以上完了したと推定する一方で、そのうち市場化されたのは35%（推定）にとどまるとし、価格に上昇圧力を及ぼしている。

- 2025年8月前半に報告された、密度の低いコーヒー豆に関する情報。大粒スクリーンサイズであるにもかかわらず、一部ブラジル産コーヒー豆で平均を下回るかさ密度が報告された。これにより当該作柄の推定値がやや下方修正され、したがって価格に対してポジティブな圧力が加わった。

- EUDR（EU森林破壊規制）の施行期限が近づいているため、欧州の焙煎業者が、12月31日までに規制違反となる可能性のある出荷を避けようとして、在庫を積み増している可能性があり、その結果、価格にさらに上昇圧力が加わっている。

- 8月中旬にブラジルで小規模な霜害が発生し、その影響は限定的であるものの、2024/25コーヒー一年度において最大で50万袋が被害を受けた可能性があり、価格にポジティブな圧力が加わった。

- 米国の商品先物取引委員会（CFTC）の建玉明細報告書において、ロースターの動きを示す指標とされる“商業部門のロング建て”が大きく増加しました。これは、ロースターが今後数か月の需要をカバーするためにロングポジションを積み増し、この時期としては平均的な水準に達したことを意味する。つまり、ロースターは将来的な価格上昇に備えて市場での存在感を強めており、そのことが価格に上昇圧力を加えている。

コロンビア・マイルドーアザーマイルドの価格差は反転し、2025年7月から2025年8月の間に -3.13 セントから 0.41 セントへと動いた。コロンビア・マイルドーブラジル・ナチュラルの価格差は17.8%拡大して 29.84 セントとなり、コロンビア・マイルドーロブスタの価格差は2025年7月から2025年8月にかけて 8.0% 上昇し、平均 167.60 セントとなった。一方で、アザーマイルドーブラジル・ナチュラルおよびアザーマイルドーロブスタの価格差は、それぞれ 3.4% および 5.6% 動き、29.43 セントおよび 167.19 セントとなった。ブラジル・ナチュラルーロブスタの価格差は 6.1% 拡大し、2025年8月には平均 137.76 セントとなった。

ロンドンとニューヨークの先物市場間で測定されるアービトラージは、2025年8月にさらに 8.4% 増加し、147.14 セントとなった。

図3：ニューヨークとロンドン先物市場間のアービトラージ

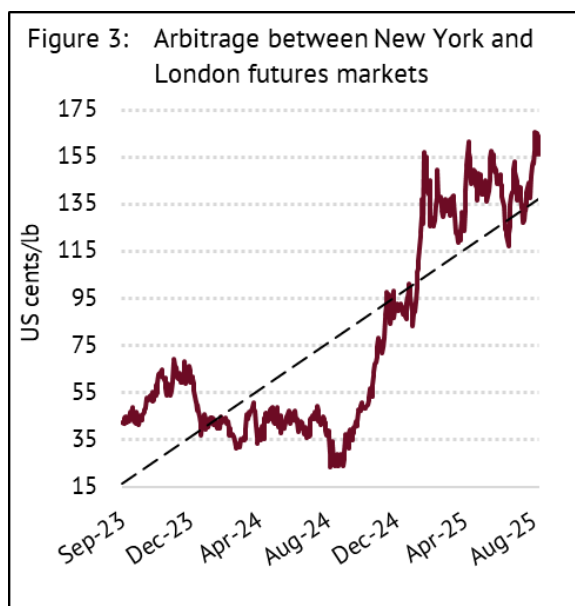
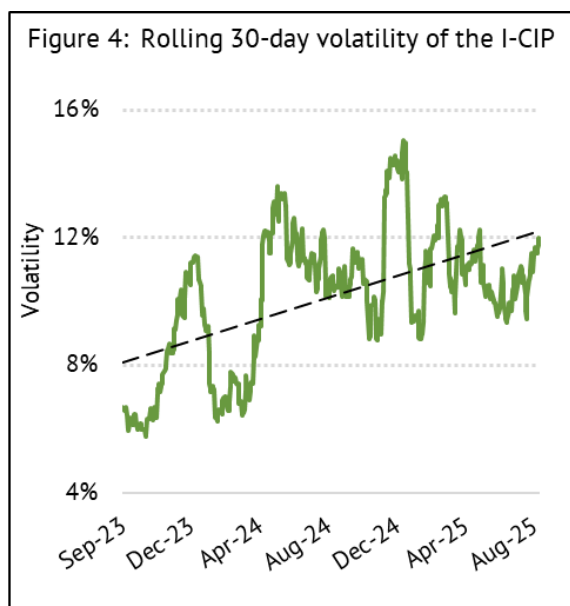
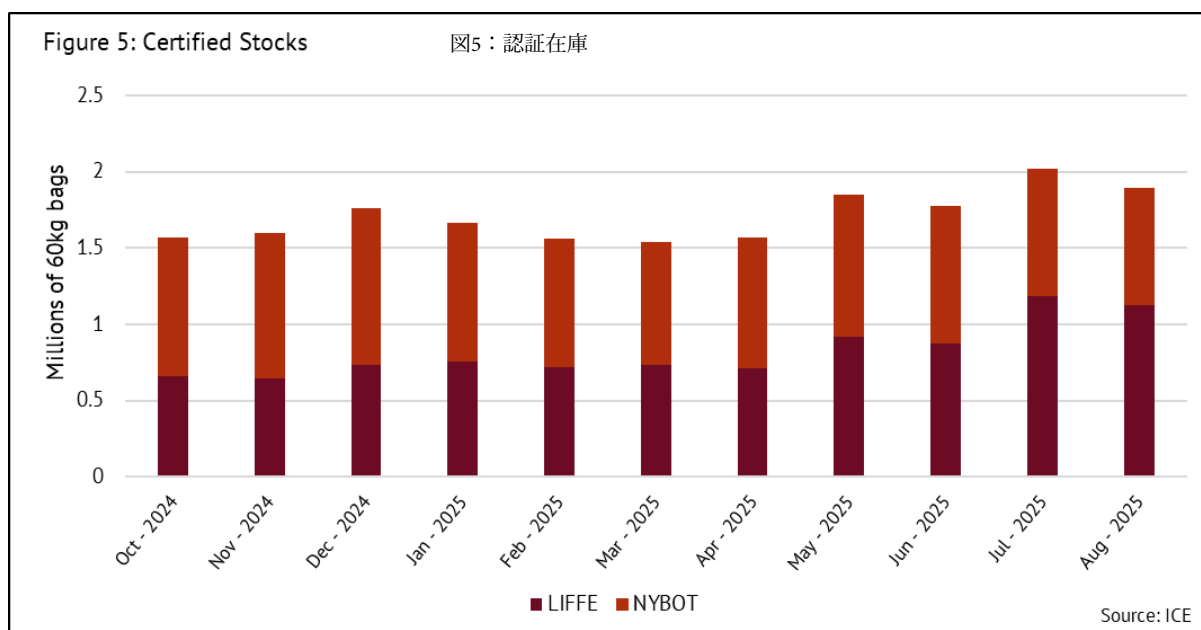


図4：ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



ICO複合指標価格の日中ボラティリティは2025年7月比で0.8パーセントポイント上昇し、2025年8月は平均11.0%となった。コロンビアマイルドおよびアザーマイルドのボラティリティも同様のトレンドをたどり、それぞれ11.2%および11.1%であった。一方で、ブラジルナチュラルは前月比1.3パーセントポイント変動し、2025年8月に12.0%となった。ロブスタのボラティリティは2025年7月の13.1%から13.0%へ低下した。ニューヨークおよびロンドンの先物市場では、ボラティリティは2025年8月にそれぞれ13.0%および16.5%であり、2025年7月比でそれぞれ1.4 および-0.1パーセントポイントであった。

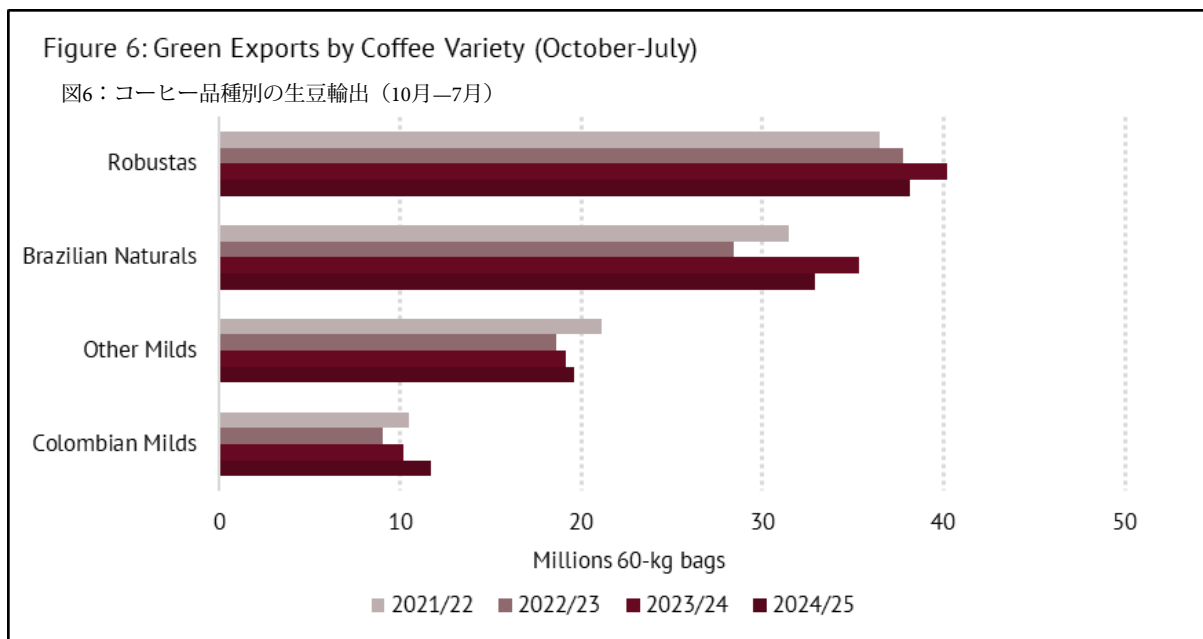
ロンドンのロブスタコーヒーの認証在庫は2025年7月から2025年8月にかけて4.6%減少し、月末時点で113万袋となった。アラビカコーヒーの認証在庫も同様のトレンドに従い、60kg袋換算で77万袋に縮小、2025年7月比で7.9%減となり、2024年4月以来の低水準となった。



コーヒーグループ別輸出生豆

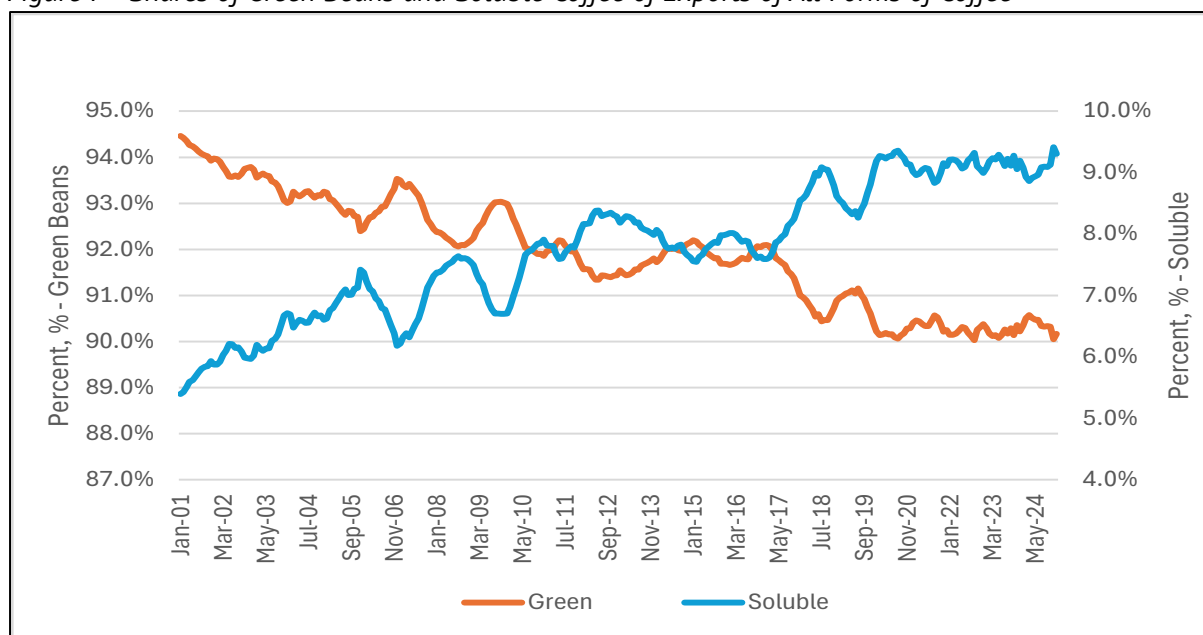
2025年7月において、世界の生豆輸出は合計で1030万袋となり、2024年7月の1038万袋と比較して0.7%減となった。これは当該コーヒー年度における6カ月連続のマイナス成長であり、年初来の総生豆輸出数量は、2023年10月から2024年7月の1億0489万袋と比較して2.5%減の1億0225万袋となった。コーヒー年度2023/24は生豆輸出にとって記録的な年であり、1億2544万袋が出荷され、これまでで最大の数量となり、12.4%増、ネットで1387万袋の増加であった。これらの数字を相対化すると、コーヒー年度2011/12から2018/19にかけての平均年間ネット増加は332万袋であり、単年で最大の増加は970万袋であった。したがって、年初来および当月の低下は予想外ではなく、ベース効果がこれらのネガティブな動きを一部説明している。

輸出の下方トレンドの根底にある追加要因は、コーヒー全形態の輸出に占める生豆の比率が低下していることである。12か月移動合計ベースで測定すると、この比率は2011年1月の94.5%から2025年7月には88.6%へと5.8ポイント低下した。過去5年間にわたり、一部の輸出国はソリュブルコーヒー生産能力を増強することでコーヒーのバリューチェーン上流への移行を図ってきた。例えば、暦年2020年から2025年の間に、インドは生豆換算で89万袋のソリュブルコーヒー設備能力を増やしたと推定され、同期間にベトナムは192万袋を追加した。一方、メキシコでは、生豆換算で67万袋の能力を有するネスレの工場が2022年7月に稼働を開始した。



表I- コーヒー全形態の輸出に占める生豆およびソリュブルコーヒーのシェア

Figure I – Shares of Green Beans and Soluble Coffee of Exports of All Forms of Coffee



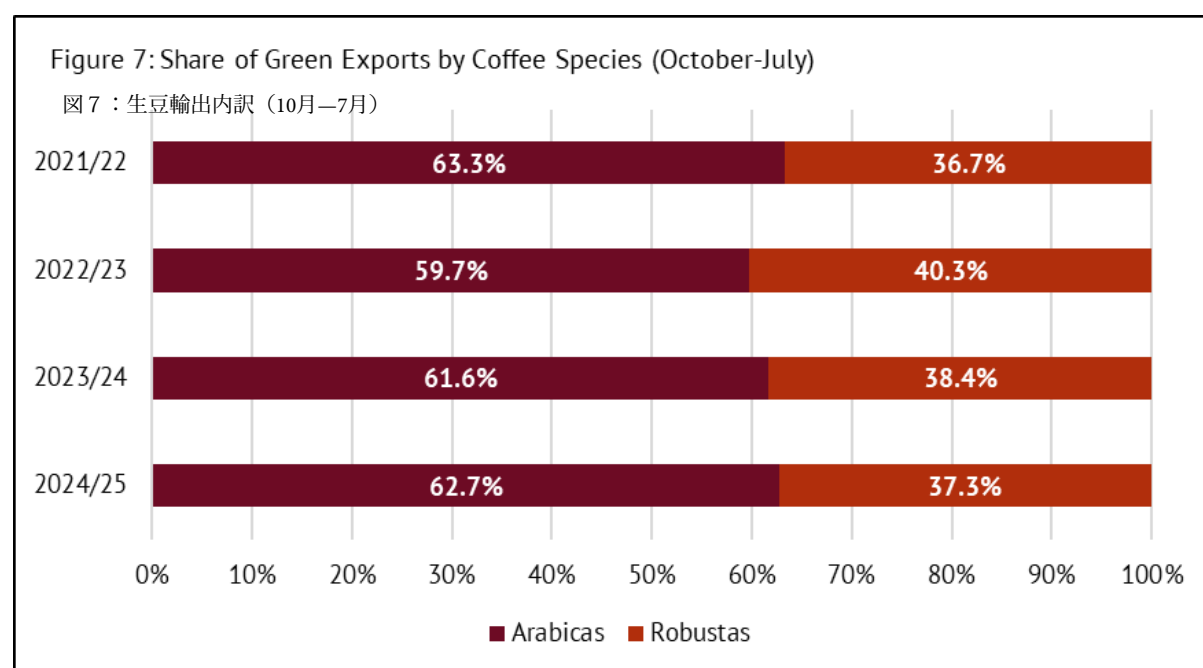
コロンビア・マイルドの輸出は、2025年7月に2024年7月の107万袋から9.6%増加して117万袋となった。その結果、年初来数量は、2023年10月から2024年7月の1017万袋と比較して14.8%増の1167万袋となった。プラス寄与の主因はコロンビアであり、同国の輸出は2024年7月の95万袋から16.1%増加して2025年7月には110万袋となり、コーヒー年度2024/25の最初の10カ月でも13.2%増であった。コロンビア国家コーヒー生産者連合会（FNC）によれば、この増加は強固な国内供給状況に起因する。現行のコーヒー年度（2025年7月まで）における生産は、前年同期の1064万袋と比較して17.3%増の1248万袋となった。コロンビアの生産量の大半は輸出されているため、生産量と輸出量は非常に高い相関関係を示している。コーヒー年度2018/19から2023/24の間、同国は生産量の96%を輸出しており、この期間の相関係数は90.3%に達した。さらに、コロンビアの輸出の好調さを説明する要因の一つとして、最大の消費国である米国におけるコーヒー需要の回復が挙げられる。北の隣国である米国は、2015/16年度から2023/24年度までの間において、コロンビアの生豆輸出の平均42.0%を占めてきた。現行のコーヒー年度（2025年7月まで）では、米国向け輸出は15.9%増加し、56万袋の純増となり、コロンビアの生豆輸出全体の成長率を上回る伸びを記録した

アザーマイルドの出荷は、2025年7月に2024年同期の235万袋から7.3%増の252万袋となった。これで6カ月連続のプラス成長となり、年初来の輸出数量は、コーヒー年度2023/24の同期間の1912万袋と比較して2.5%増の1959万袋へと押し上げられた。直近の上振れの源泉は広範であったが、ホンジュラスとニカラグアが主な牽引役であり、両国合計の輸出は20.6%増、純増は13万袋であった。

ブラジル・ナチュラルの生豆輸出は、2025年7月に2024年7月の323万袋から16.8%減の267万袋となった。これは、ブラジル・ナチュラルの輸出が300万袋の水準を下回った月が2カ月連続であり、マイナス成長が5カ月連続であることを意味する。ブラジルが低下の主因であり、同国の輸出は2024年7月の256万袋から23.1%減少して197万袋となった。全体傾向と同様に、当原産地のブラジル・ナチュラルの輸出が200万袋の水準を下回ったのは、2022年7月にブラジルが196万袋を出荷して以来、2カ月連続となった。今回の急激な落ち込みは、ブラジルのアラビカコーヒー生産の強い循環性とベース効果に関連しているとみられる。コーヒー年度2023/24は、ブラジルのブラジル・ナチュラル輸出にとって「表作」であり、通年で21.7%増、また2024年7月は2023年7月比で11.5%増であった。実際、2024年7月にブラジルは256万袋を出荷し、7月として過去最大の数量を記録した。

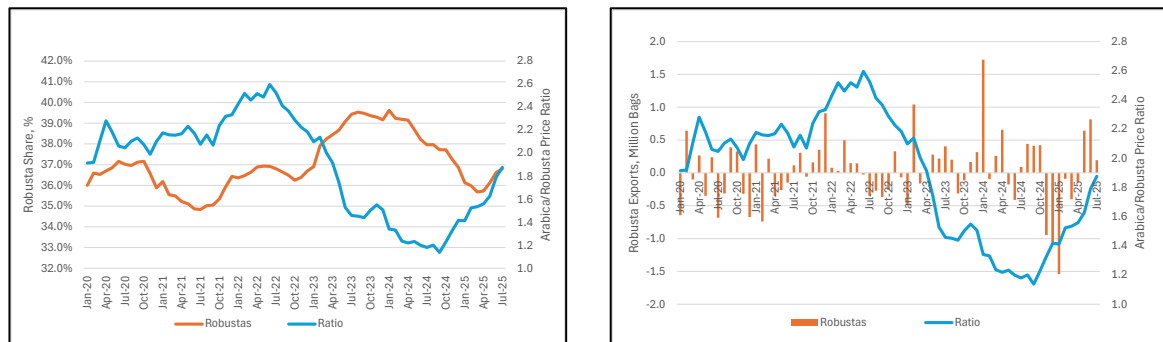
ロブスタの生豆輸出は、2024年7月の373万袋から2025年7月には392万袋へと5.2%増加した。これは、5か月連続のマイナス成長に続く、3か月連続のプラス成長である。しかし、年初来成長率は依然として5.3%のマイナス圏にとどまる。直近のプラス成長の主因はインドネシア、ウガンダ、ベトナムの3か国であり、これら3か国の合計輸出は2025年7月に29.3%増の306万袋となり、ネットで69万袋の増加となった。これを一部相殺したのがブラジルであり、同国の輸出は2024年7月の91万袋から2025年7月には46万袋へと49.3%減少した。この急減は、9か月連続の低迷を示すものであり、長期にわたる異例の高水準出荷（2023年7月から2024年10月の間にロブスタを1248万袋、2023/24コーヒー年度には937万袋）を経た後の、通常の輸出水準への回帰を反映する。

前述のロブスタ輸出の月次成長ダイナミクスの変化および中期的な下方トレンドは、アラビカ／ロブスタの価格比に関連している可能性がある。価格比とロブスタ輸出数量の間には遅行的な負の関係が存在し（表II参照）、一般にアラビカ価格がロブスタに対して高いときにはロブスタの消費が増え、その逆も然りである。価格比は2022年6月に2.6でピークに達し、2024年9月までに1.16の低水準に低下した。2023年9月から2025年3月の期間において、総生豆輸出に占めるロブスタのシェアは、12か月移動合計ベースで39.5%から35.7%へと低下した。しかし、2025年7月までの直近10か月にわたり、価格比は1.88へ反発し、これと時を同じくして3か月連続のプラス成長がみられた（表III参照）。



表II（左） 総生豆輸出に占めるロブスタ輸出の12か月移動合計シェアおよび月次アラビカ／ロブスタ価格比

表III（右） - 月次前年比ロブスタ輸出および月次アラビカ／ロブスタ価格比



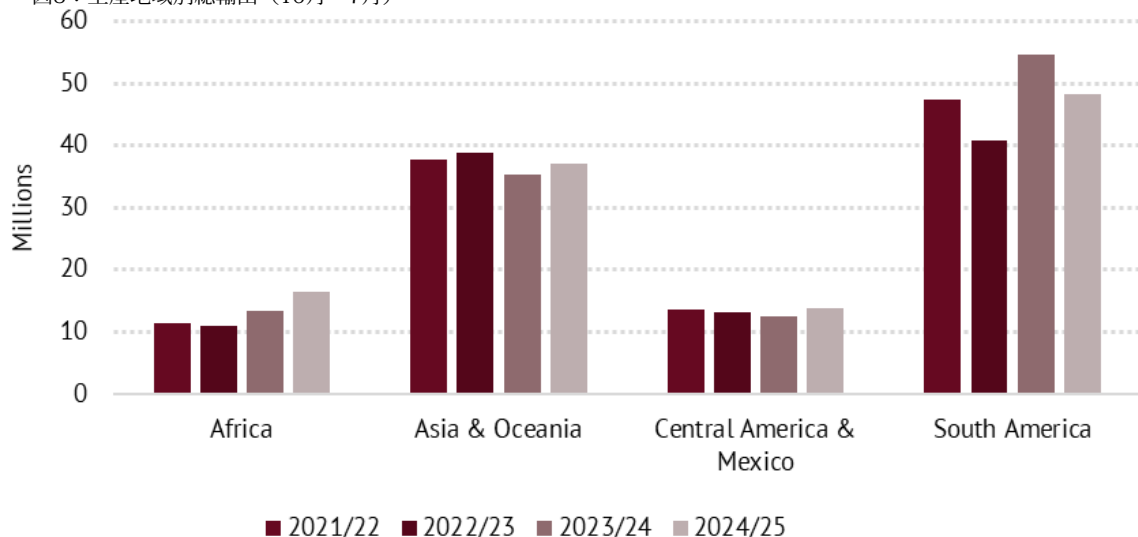
その結果、2024/25コーヒー年度の最初の10か月（～2025年7月）における生豆総輸出に占めるアラビカの比率は、前年同期の61.6%から62.7%へ上昇し、当該年度の最初の9か月の62.8%からはわずかに低下した。

地域別コーヒー輸出 – 全形態

世界全体の全形態のコーヒー輸出は2024年7月の1160万袋と比較し、2025年7月に1.6%減少し、1142万袋となった。これは当該コーヒー年度における5か月目のマイナス成長である。年初来累計輸出は1億1561万袋で、前年同期の1億1594万袋と比べて減少している。直近の低下の主因は南米であり、同地域の輸出は2024年7月の540万袋に対して18.5%減の440万袋となった。その結果、同地域の総輸出に占める比率は、2024年7月の46.5%に対し2025年7月は38.5%へ低下した。2025年7月は南米にとって9か月連続の低下となった。

Figure 8: Total Exports by Producing Regions (October-July)

図8：生産地域別総輸出（10月～7月）



アジア・オセアニアからの全形態のコーヒー輸出は、2024年7月の273万袋から2025年7月は22.7%増の334万袋となった。この拡大は主としてベトナムに牽引され、同国の輸出は2024年7月の131万袋から29.4%増の170万袋となった。成長率はベース効果を反映しており、2024年7月の輸出は2010年に120万袋を出荷して以来で最も低い7月の出荷であった。

2024年7月の数値の位置づけとして、2018～2022年の7月平均出荷198万袋を遥かに下回る。インドネシアも同地域の二桁成長に寄与し、輸出は20.4%増の96万袋となった。インドネシアにとっては、2024/25コーヒー年度の最初の10か月で9回目の拡大であり、年初来累計輸出は53.0%増の788万袋となった。2024/25コーヒー年度の収穫が想定を上回り、輸出可能供給を増加させたことが、強い輸出パフォーマンスの背景にあるとみられる。

アフリカからの全形態のコーヒー輸出は、2024年7月の196万袋から2025年7月に4.4%増の205万袋となった。ウガンダが2025年7月の同地域の成長の主因であり、輸出は51.4%増の101万袋となった。良好な収穫、すなわち供給の潤沢さに、国際コーヒー価格の高水準および前倒し出荷が重なったことが、この成長を説明するものとみられる。ウガンダでは、グレーター・マサカおよび南西部地域の主収穫による良好な作柄が、ウガンダコーヒー開発庁による説明として示された。エチオピアも同地域の二桁成長に大きく寄与し、当該原産地は2025年7月に81万袋を出荷し、2024年の72万袋と比較して12.5%増となった。アフリカの第1および第2の輸出国であるエチオピアおよびウガンダの成長率と比較して、この地域の成長率がやや低調であったのは、主にコートジボワールおよびケニアによるものである。両国の輸出はそれぞれ59.9%および40.5%減少し、合計で12万袋の純減となった。

2025年7月、南米の全形態のコーヒー輸出は2024年7月の540万袋から18.5%減の440万袋となった。これは当地域にとって、16か月連続のプラス成長に続く9か月連続のマイナス成長である。低下は主としてブラジルによるもので、同国の輸出は2024年7月の383万袋から28.6%減の273万袋となった。この低下とその大きさはベース効果によるものである。2023/24コーヒー年度において、ブラジルは5010万袋を輸出し、これは過去最高の数量であり、2022/23コーヒー年度に出荷された数量よりも1301万袋多く、すなわち35.1%の増加であった。この成長の相当部分は、ベトナムにおける不作に起因する供給問題への対応であり、同国の輸出は11.7%減、2023/24コーヒー年度において331万袋の純減となった。現在、この供給ギャップが解消されたことで、対応圧力が和らぎ、ブラジルの輸出減少につながっている。さらに、主要なコーヒー輸出港であるサントス港での継続的な物流問題が、低下の大きさに拍車をかけた。

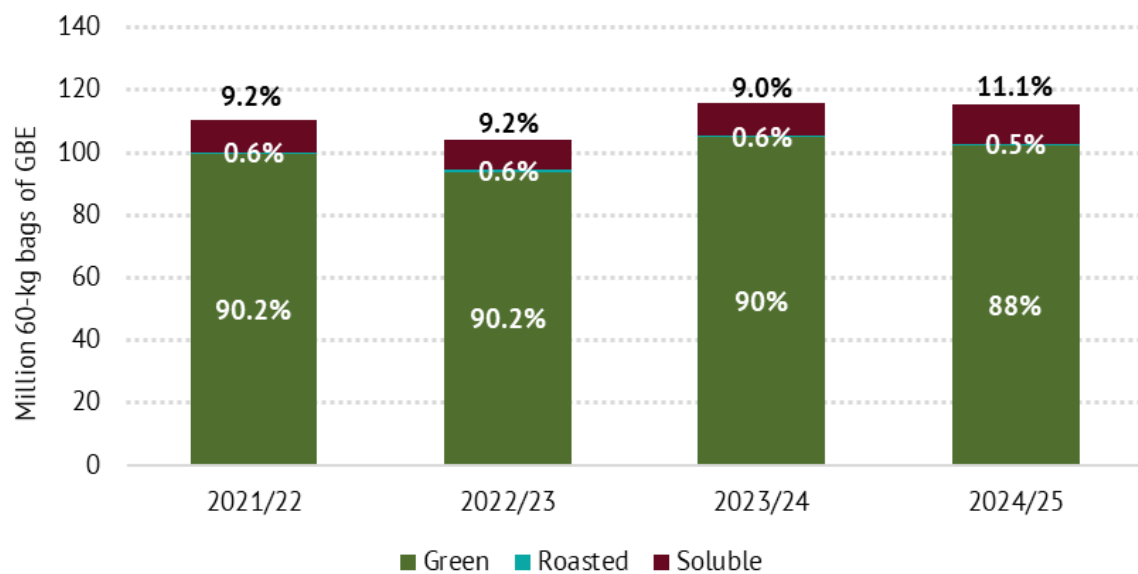
2025年7月、メキシコ・中米からの全形態のコーヒー輸出は2024年7月の152万袋と比較して7.2%増の163万袋となった。これは2024/25コーヒー年度の最初の10か月において当地域にとって9回目の拡大であり、年初来累計輸出は11.1%増の1373万袋となっている。直近の上振れは主としてホンジュラスとニカラグアに牽引され、両国は2024年7月の66万袋と比較して2025年7月に合計78万袋を出荷し、19.1%増となった。これらの上振れは、2023/24年に急激な低下を経た後、当該コーヒー年度における国内供給の増加に関連している。2023/24コーヒー年度において、ニカラグアは219万袋を収穫し、これは2015/16コーヒー年度に収穫された213万袋以来の最低水準であった。一方、ホンジュラスは514万袋を収穫し、これは2013/14コーヒー年度の458万袋以来の最低水準であった。2024/25コーヒー年度の推定生産見通しはそれぞれ269万袋および545万袋であり、これがより高い輸出数量を支えると見込まれる。ニカラグアは通常、生産量の平均94%を輸出し、ホンジュラスは93%を輸出する。

形態別のコーヒー輸出

ソリュブルコーヒーの総輸出は2025年7月に5.0%減少し、2024年7月の114万袋から108万袋となった。

Figure 9: Total Exports by Form (October-July)

図9：形態別総輸出（10月～7月）



コーヒー年度**2024/25**（**2024年10月～2025年7月**）における全形態のコーヒー輸出に占めるソリュブルコーヒーの比率は、コーヒー年度**2023/24**の同期間の**9.0%**と比較して**11.1%**へ上昇した。**2025年7月**におけるソリュブルコーヒーの最大輸出国はブラジルであり、**28万袋**を出荷した。

焙煎豆の輸出は2025年7月に63.0%減少し、2024年7月の9万袋と比較して3万袋に達した。

表 1 : ICO複合指標価格と先物価格(US\$ cents/lb)

Table 1: ICO daily indicator prices and futures prices (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Sep-24	258.84	279.27	278.52	257.24	241.93	254.43	225.13
Oct-24	250.56	277.10	276.82	255.85	221.93	250.62	207.11
Nov-24	270.72	306.21	304.98	285.59	226.11	277.04	214.43
Dec-24	299.61	341.00	343.34	326.97	236.73	317.00	226.28
Jan-25	310.12	351.93	354.47	339.18	245.29	328.94	234.33
Feb-25	354.32	410.64	409.48	401.10	263.08	388.18	253.48
Mar-25	347.85	404.97	404.02	392.48	257.61	382.75	247.63
Apr-25	335.76	394.14	392.84	378.27	246.39	370.37	235.69
May-25	334.41	395.59	397.84	380.02	237.76	368.21	224.63
Jun-25	295.06	360.08	363.16	338.53	196.21	329.56	183.21
Jul-25	259.31	322.37	325.50	297.04	167.19	289.17	153.43
Aug-25	297.05	366.72	366.32	336.88	199.13	328.57	181.43
% change between Jul-25 and Aug-25							
	14.6%	13.8%	12.5%	13.4%	19.1%	13.6%	18.2%
Volatility (%)							
Jul-25	10.2%	10.0%	10.1%	10.7%	13.1%	11.6%	16.6%
Aug-25	11.0%	11.2%	11.1%	12.0%	13.0%	13.0%	16.5%
Variation between Jul-25 and Aug-25							
	0.8	1.2	1.0	1.3	-0.1	1.4	-0.1

* Average prices for 2nd and 3rd positions

Table 2: Price differentials (US cents/lb)

表 2 : 価格差 (US\$ cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Sep-24	0.75	22.03	37.34	21.28	36.60	15.31	29.30
Oct-24	0.28	21.25	55.17	20.97	54.89	33.92	43.50
Nov-24	1.24	20.62	80.10	19.38	78.87	59.48	62.60
Dec-24	-2.34	14.03	104.27	16.37	106.61	90.24	90.72
Jan-25	-2.54	12.75	106.64	15.30	109.18	93.88	94.60
Feb-25	1.16	9.54	147.56	8.37	146.40	138.03	134.70
Mar-25	0.95	12.49	147.37	11.54	146.42	134.87	135.11
Apr-25	1.30	15.87	147.75	14.57	146.44	131.87	134.67
May-25	-2.25	15.57	157.83	17.83	160.09	142.26	143.58
Jun-25	-3.08	21.55	163.86	24.63	166.95	142.32	146.35
Jul-25	-3.13	25.32	155.17	28.45	158.31	129.85	135.74
Aug-25	0.41	29.84	167.60	29.43	167.19	137.76	147.14
% change between Jul-25 and Aug-25							
	-113.0%	17.8%	8.0%	3.4%	5.6%	6.1%	8.4%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

Table 3: World Supply/Demand Balance

表3：世界のコーヒー需給バランス

Coffee Year	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24*	% change
PRODUCTION	169.8	168.4	170.8	168.0	168.2	178.0	5.8%
Arabica	99.5	96.4	100.6	92.3	94.0	102.2	8.8%
Robusta	70.3	72.0	70.3	75.7	74.2	75.8	2.1%
Africa	18.5	18.5	19.2	19.3	17.9	20.1	12.1%
Caribbean, Central America & Mexico	21.3	19.2	19.7	18.9	19.2	18.7	-2.5%
South America	81.9	81.1	83.9	77.6	81.3	89.3	9.8%
Asia & Oceania	48.1	49.6	48.0	52.2	49.8	49.9	0.3%
CONSUMPTION	171.2	168.6	169.9	176.6	173.1	177.0	2.2%
Exporting Countries	52.5	52.2	53.1	54.4	55.1	56.5	2.6%
Importing Countries (Coffee Year)	118.6	116.4	116.8	122.2	118.1	120.5	2.1%
Africa	11.9	12.1	13.0	12.9	12.2	12.5	2.6%
Asia & Oceania	39.9	40.1	42.2	44.2	44.5	45.7	2.7%
Caribbean, Central America & Mexico	5.8	5.8	5.9	6.0	6.0	6.1	2.3%
North America	31.8	30.6	30.2	31.3	29.8	30.9	3.8%
South America	26.3	26.0	26.4	27.0	27.5	28.0	1.6%
Europe	55.5	54.0	52.2	55.2	53.1	53.7	1.1%
BALANCE	-1.3	-0.2	0.9	-8.6	-4.9	1.0	

*preliminary estimates

Table 4: Total exports by exporting countries

表4：輸出国の総輸出量

	Jul-24	Jul-25	% change	Year to Date Coffee Year		
				2023/24	2024/25	% change
TOTAL	11,604	11,418	-1.6%	115,936	115,615	-0.3%
Arabicas	7,343	6,919	-5.8%	70,741	70,404	-0.5%
Colombian Milds	1,155	1,253	8.5%	10,955	12,666	15.6%
Other Milds	2,629	2,751	4.7%	21,753	22,288	2.5%
Brazilian Naturals	3,559	2,914	-18.1%	38,034	35,449	-6.8%
Robustas	4,261	4,499	5.6%	45,195	45,211	0.0%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

Table 5: Certified stocks on the New York and London futures markets

5：ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場の認証在庫

	Sep-24	Oct-24	Nov-24	Dec-24	Jan-25	Feb-25	Mar-25	Apr-25	May-25	Jun-25	Jul-25	Aug-25
New York	0.87	0.91	0.95	1.03	0.91	0.84	0.80	0.85	0.93	0.91	0.83	0.77
London	0.74	0.66	0.65	0.73	0.76	0.72	0.74	0.71	0.92	0.87	1.18	1.13

In million 60-kg bags